学校番号	105

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集大成である大作作品を制作しますので、毎回の授業を大切にし、目標をもって努力しましょう。
・書道演習では定められた作品を臨書していましたが、書道演習では自らで臨書作品を選択することにより書作品に対する理解、鑑賞する力をさらに深めます。
・授業では鑑賞を通して制作意図や技術を学習し、各単元、毎授業の取り組み方、作品やプリント課題等により評価を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書道の知識、技能を身につけた上で自己表現に活かす。
【思考力、判断力、表現力等】
書写能力を高め、表現と鑑賞の能力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
書道の幅広い活動を通して、自ら学ぶ力を育成するとともに、書を愛好する心情を育て感性を豊かにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を活かした書表現をするために必要な書技を身に付け、創造的かつ主体的に表現している。	書を形成する要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、古典臨書、創作の際にどのように表現するか考え、工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の文化や伝統に関心を持って理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	半切の臨書作品を書く	・半切に臨書 ・鄭長猷造像記 ・張遷碑 ・李橋詩雑	a:用筆法を理解し、自己の表現活動について発展させている。 b:多様な古典の特徴を理解し、美を構成する背景を感受しながら、感性や創造性を豊かにし、表現を工夫している。 c:各書体の学習を踏まえ、多様な表現を理解して、いろいろな表現技法を習得できるよう主体性をもって取り組んでいる。	提出作品 プリント	提出作品 プリント	参加状況 プリント
	実用書	・履歴書の書き方 ・葉書の書き方 (応用ペン字を使用)	a:書類の性質を理解し、正確に書いている。 b:美しく正確に書く努力をしている。 c:実用的な書として実生活に役立つように興味を持っている。	提出作品 プリント	提出作品 プリント	提出作品 プリント
二学期	仮名の書	・仮名臨書 ・本阿弥切本古今和歌集 ・升色紙 ・秋萩	a:それぞれの古典作品の用筆法、表現技法を理解し、正確に書いている。 b:古典のさまざまな表現技法を身に付け、自己の表現活動について発展させている。 c:それぞれの古典作品の特徴を理解し、興味関心をもって取り組んでいる。	提出作品 プリント	提出作品 プリント	提出作品 プリント
		・模刻 8分ひとつ 7分ひとつ	a:意図に応じた表現を工夫し、古典の字形や用筆等を参考に個性的な表現ができる。 b:意図に応じた表現を構想し、字形や用筆等を参考に個性的な表現ができる。 c:模刻に関心をもち、さまざまな書風や特徴を取り入れて制作しようとしている。	提出作品 プリント	提出作品 プリント	提出作品 プリント

三学期	卒業制作	・3年間の集大成となる作品を書く。 （半紙、半切サイズ）	a:これまでに学んだ表現技法を理解し、筆の弾力や墨の潤渇を表現できている。 b:用筆法、表現方法を理解し、表現を構想しながら工夫している。 c:書の美と表現方法について関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	提出作品 プリン	提出作品 プリン	提出作品 プリン

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度